

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

網膜剥離または黄斑円孔に対する硝子体手術において、空気またはガス置換後の治療奏効率の比較
1. 研究の対象および研究対象期間 2023年1月1日から2023年12月31日までの期間内に昭和大学横浜市北部病院眼科で網膜剥離または黄斑円孔の手術で空気またはガス置換を施行された患者さんを対象とします。
2. 研究目的・方法 網膜剥離及び黄斑円孔の手術で空気またはガス置換を施行された症例において、空気またはガスが抜けるまでの期間と治療奏効率の比較を行うことが本研究の目的です。研究の方法として、2023年1月1日から2023年12月31日までの1年間で行われた症例をカルテ調査する予定です。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 <ul style="list-style-type: none">・2023年に網膜剥離または黄斑円孔の硝子体術後に空気またはガスを入れた患者さんの気体が抜けるまでの期間・硝子体術後に空気またはガスを入れたそれぞれの場合の治療奏効率
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
6. 研究組織 研究責任医師：昭和大学横浜市北部病院 眼科 助教 鈴木 康介 本研究では、共同研究機関、研究協力期間、既存資料・情報提供のみを行う機関は存在しません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：080-2818-8584

所属：昭和大学横浜市北部病院眼科

氏名：鈴木康介

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35 - 1

電話番号：080-2818-8584